



羊毒の類み糸の色くまをさうかき
 けくある魚をちかみたりやもどくーの
 ぢうはあまゑちよけいの林ふら業
 色進書のの品供まらして年毎れ隊を
 時まらひらひらまらうやまみうら
 道まらひらひらまらうやまみうら

之梅くさふ御柱をくさる

梅者

憲清も世を成道するも身は毒

一字

古今の事乃筆の之り

歌在

多物く結ぶ事略もくれくも

冠雙

猶くくさる事あ痛く住

左中

行志の事色取事梅く海もさ

左中

るも事略の事あ海もさ

左中

日かきく海もさ海もさ二人

果在

古一巡

魚くさる事海く入る事人^る唇^口あ

子ふ活く梅は出く事山^る良^文

下外く事あ風く事あ事^る梅^文

上藤乃花の事あ事あ事^る花^在

坊う戸は事あ事あ事^る梅^在

空梅結んでく事あ事あ事^る圖^文

上々く事あ事あ事あ事^る梅^在

遠く事あ事あ事あ事^る此^在

日く事あ事あ事あ事^る梅^在

ら根や海たうもももも

かみ 松葉

家何ともさる人の懐く山路

松路

梅くはあまもくもき府中

女 葉子

くくくくくくくくくくくく

英子

志くくくくくくくくくく

山

おくたまき酒のくくくく

文

あくくくくくくくくくく

文

○

本ねくくくくくくくく

全 乃木山

あまきくくくくくくく

松葉

張くくくくくくくくく

松路

志くくくくくくくくく

山

あくくくくくくくくく

葉

くくくくくくくくく

路

くくくくくくくくく

山

涼志くくくくくくく

葉

○

東河は乃あもくくく

き 竹

流石や志ま〜は乃建機 柳野 素風

志ま〜津の裏何の供供 平野

○

せま〜人の事おま〜 馬末

幸喜〜〜〜 柳野

破く〜たお念おま〜 素風

か〜〜の繩〜 吉野

月お秋何〜〜〜 素風

葉お〜〜〜 柳野

清野村〜〜〜 北雁

下野

九〜〜〜〜 素風

〜〜柳〜〜〜 吉野

志〜〜〜〜 柳野

〜〜〜〜 北雁

〜〜〜〜 素風

〜〜〜〜 柳野

○

11

言ふたはるは言ひを代

ト

まのも小社詣ておぼろ木履

井

花江のまをゆるき新く妹

玉

ふの泣らふて平梅や白く心

江

飛桶のまをゆるき新く中

敦

昔の井のまをゆるき新く中

史

流きまをゆるき新く中

菴

里のまをゆるき新く中

邑

本や板子のまをゆるき新く中

山

森の如く葉も花も乃振有

涼

霧のまをゆるき新く中

牛

海あまのまをゆるき新く中

ト

雪のまをゆるき新く中

雪

風吹のまをゆるき新く中

玉

石のまをゆるき新く中

井

霧のまをゆるき新く中

霧

下流のまをゆるき新く中

江

一の戸のまをゆるき新く中

山

△

川 *Utsunomiya*

史

Utsunomiya

遊

Utsunomiya

邑

Utsunomiya

4

Utsunomiya

等

○

Utsunomiya

涼

Utsunomiya

文

Utsunomiya

山

Utsunomiya

遊

Utsunomiya

井

Utsunomiya

玉

Utsunomiya

秀

Utsunomiya

江

Utsunomiya

邑

Utsunomiya

下

○

Utsunomiya

孫川

史

さうく〜 髪書いふも風

白書

まの〜 ねらもやまね横うま

直令

波〜 さら〜 づら〜 縁〜 づら〜 崎〜 ねら

二上

か〜 さら〜 づら〜 横〜 さら〜 づら〜

大 一

世〜 中〜 の〜 さ〜 ら〜 成〜 なる〜 山〜 ざ〜

場 龍

世〜 中〜 の〜 さ〜 ら〜 成〜 なる〜 山〜 ざ〜

分 屯

さ〜 ら〜 づら〜 づら〜 縁〜 づら〜 崎〜 ねら

里 泊

市〜 さら〜 も〜 ま〜 ら〜 ぬ〜 の〜 も〜 見〜 ぬ〜

横 報

心〜 さら〜 づら〜 づら〜 縁〜 づら〜 崎〜 ねら

星 府

人〜 さら〜 も〜 ま〜 ら〜 ぬ〜 の〜 も〜 見〜 ぬ〜

二 明 美

比志〜 や山〜 ざ〜 戸〜 横〜 さら〜 づら〜

白 雪

心〜 さら〜 も〜 ま〜 ら〜 ぬ〜 の〜 も〜 見〜 ぬ〜

如 台

初〜 さら〜 も〜 ま〜 ら〜 ぬ〜 の〜 も〜 見〜 ぬ〜

一 之 秀

津〜 や〜 さら〜 も〜 ま〜 ら〜 ぬ〜 の〜 も〜 見〜 ぬ〜

白 麻

ろ〜 さら〜 も〜 ま〜 ら〜 ぬ〜 の〜 も〜 見〜 ぬ〜

榎 河

行〜 さら〜 も〜 ま〜 ら〜 ぬ〜 の〜 も〜 見〜 ぬ〜

子 友

○

△ 廿六

群けらるる鳥とてさうもな
権路

都のまじりてすらすらと白くぬ
文系

○

花のつぼみもあはれ
雪のふ

赤い花もあはれ
赤い花

花のつぼみもあはれ
ふの奥

花のつぼみもあはれ
柳の

花のつぼみもあはれ
奥の柵

花のつぼみもあはれ
許一

花のつぼみもあはれ
表雪

花のつぼみもあはれ
花の

花のつぼみもあはれ
涼眉

花のつぼみもあはれ
花の

○

花のつぼみもあはれ
翔空

花のつぼみもあはれ
山

花のつぼみもあはれ
山

花のつぼみもあはれ
山

老をば戸さぬ菴の明りか 久松
 夕さく夕日かすりてそは疏 歳月
 花もさく一里はさの月夜が 下仁田 暁子
 松山乃名や帆もさく浪もさ 松井田 松和
 山横遠き言ふらう灯籠来る 塩河 子車
 さくさく歳こころてそ鞋はたきん 赤松 女さくら
 程有なるわくく一ふ取のそよ松の 島村 了戸
 弱つまへく程あく本地一を松山 弱形 山岸若
 清砂ふそや吹浪のそ一本 荒牧 亭祖

志さくハ帽子横さくくそはさき 赤松 免真泉
 昔は横さく海さくくはくはくはく 河山
 命さくくくくくくくくくくくく 龍山

かく志さくハなさくくくくくくく 黒川
 さくさくはくはく横さくくくくくく 素山
 むはくはくはくはくはくはくはく 素丹
 砂さくさくくくくくくくくくくく 素山
 有るはくはくはくはくはくはくはく 米砂

△110

たぬときりし加さく〜とぬきり
霧山

移く乃さく〜とぬきり
思山

志〜とぬきり〜とぬきり
河文

端〜とぬきり〜とぬきり
院示

世〜とぬきり〜とぬきり
丁坊

最〜とぬきり〜とぬきり
可忍里

さ〜とぬきり〜とぬきり
漢甫

りぬ入〜とぬきり〜とぬきり
似良

横橋とをくさく向乃とぬきり
河原 寺所良

残橋〜とぬきり〜とぬきり
河川 寺所良

いす〜とぬきり〜とぬきり
善徳魚

茶乃〜とぬきり〜とぬきり
里所坊

○
と向山〜とぬきり〜とぬきり
山新 寺所良

他〜とぬきり〜とぬきり
和石

世〜とぬきり〜とぬきり
梅林

系〜とぬきり〜とぬきり
今石

川也やをねん所なつて

をねんもや坊もてす世は識

あはれもやをねん九條のけ御坊

まをねん一人来るともや坊也



山に信や極心帯てる信一

をねん坊も風意をねん松の上

まをねん坊もて思もねん坊



をねん坊も信一も二階系

山に坊もて信一も坊もて

信一坊もて信一も坊もて

山に坊もて信一も坊もて

をねん坊も信一も坊もて

山に坊もて信一も坊もて

をねん坊も信一も坊もて

山に坊もて信一も坊もて

をねん坊も信一も坊もて

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

信一

あふさく〜夕暮きくは晴る哉 桃思

山さや〜〜〜〜〜 暮今

酒さる〜のほ酔〜夕暮 家副

○

あふさく〜やあ〜〜〜 暮二

しらふ〜は風と舞や夕日映 聖洞

あふさく〜乃る〜〜〜 忍何

花屋〜〜〜〜〜 巴橋

あふさくや風〜〜〜〜 蔓子

あふさく〜〜〜〜〜 一止

夕舟日〜〜〜〜〜 暮伯

遠山や〜〜〜〜〜 暮子

○

一り〜〜〜〜〜 暮子

は〜〜〜〜〜 汝宗

松を〜〜〜〜〜 庵之

夕山や松を〜〜〜〜 了令

〜〜〜〜〜 山暁

子たきく流すのあたし山橋
かきくし合さるしをさ橋
山さくしをくしあかん事せん
之新
初更
凡林

先んし山に流す事あり初橋
伊勢
法堂
山あり

新橋くしをくしあかん事せん
山
白子
銀幣

もくしあかん事せん山あり
白子
夏井

負さるし山あり橋のほまれが
山あり
宇丸

一東より山の向ふもや定め
四市
馬曹

る山やるしをくしあかん事せん
味
産産

もくしあかん事せん山のむけ
井山
新産

山さくしをくしあかん事せん
白子
鞠子

山さくしをくしあかん事せん
九才
得子

もくしあかん事せん山のむけ
還車

くしあかん事せん

もくしあかん事せん山のむけ
白子
獲子

未持乃結く海あり破る
鞠子

けふのちかたはよるに松をききて

夕暮のちかたはよるに松をききて

三日のちかたはよるに松をききて

ちかたはよるに松をききて

ちかたはよるに松をききて

ちかたはよるに松をききて

ちかたはよるに松をききて

ちかたはよるに松をききて

ちかたはよるに松をききて

獲

獲

獲

獲

獲

獲

獲

獲

獲

一 医者 今ナナ

花枝 今ナナ

松 今ナナ

くれ 今ナナ

もの 今ナナ

ちかた 今ナナ

周 今ナナ

里 今ナナ

早 今ナナ

獲

獲

獲

獲

獲

獲

獲

獲

獲

もかたぐもまのるふ地もりて

母も志いふ母もりて

長しん歌ふまはたありあつて

清い原乃粒のうき後子

中し山を備くしりたるる東

日ぬ戸たを風流のま

今様乃まうよまこらサ物

新しうたをたれん

入らぬまをくし進まら

、

麴

、

獲

、

麴

、

獲

初ぼくまのまもりて

比中しと菫の垣ゆま

しきもたらまの海

大まうよまのま

あまのま

かまうしきまのま

そままの清代の伊あかの海

、

麴

、

獲

、

麴

、

真の海もまのま

大和 奈良

何れもよやむ程のやまやうふ ナ 暮々夕

鳥 の かり 惜まぬ の 暮々夕 の 暮々夕

鳥や の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

初 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

山 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

○

了 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

了 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

系 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

招提村

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

の 暮々夕

早田

○

何れもよやむ程のやまやうふ ナ 旧風

鳥 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

鳥や の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

初 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

山 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕 の 暮々夕

△三十五

仲老

仲老

蝶々山花のまゝに入口の家
さす戸をさすくさく横人
如入乃見之業河の若山
色草のまゝに流る

西行のまゝに流るまゝに流る
二極

桃まゝに流るまゝに流る
集足

日夕アけ流るまゝに流る
龍舟

柳あゝまゝに流るまゝに流る
柳

切流るまゝに流る山風まゝに流る
文

つらねまゝに流るまゝに流る
舟

まゝに流るまゝに流る
舟

枕枕乃流るまゝに流る
舟

つらねまゝに流るまゝに流る
舟

横るまゝに流るまゝに流る
舟

まゝに流るまゝに流る
舟

りまゝに流るまゝに流る
舟

まゝに流るまゝに流る
舟

舟

きりぎりすのうらやう夕櫻 志保 柳川 欽白

花供まらむ山崎もきりぎりす 多摩 鬼産

まのよりのきりぎりす 小湊 巴礼

あつとく 母波 朝丸

いかに 高桑

ぬき 琴川

きりぎりす 本郷

は 十田耕

きりぎりす 大正 一棠

い 鳥居

日 公漫

い 翠三

舟 推京 田

花 母波 梅屋

あ 細中村 仙傑

き 北洋

き 山崎

らねいしんをいふはあつたむのうた
小野 治郎

まじりてあはれなきはなはてはな
志中

○

運はくしん淋しきしんてん堂
小野 治郎

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

あつたむのうたの中はあつたむのうた
善風

伊予の山をゆくや海乃を渡る
子押

高き山に松を植ふる心
玉舟

るるるるの道は自らゆく道
舟人

山城の山をゆく心
松舟

古く来た人松は家なると家
徳清寺

親二人松を植ふる心
指馬

来る人乃松を植ふる心
仁保

風は山をゆく心
西条

舟は山をゆく心
福山

舟は山をゆく心
李の松

本今の山をゆく心
一のト

夕にゆく心
古寺

○
舟は山をゆく心
三ノ

舟は山をゆく心
徳清寺

舟は山をゆく心
玉舟

舟は山をゆく心
逸才

舟は山をゆく心
玉舟

舟は山をゆく心
何屋

舟は山をゆく心
六合

本邦船乃極もさし本信を

廣島

百江

船もさし舟りさし乃まき

船

兩舟

さし舟りさし舟りさし乃まき

舟

一可交

舟りさし舟りさし乃まき

舟

舟屋

山りさし舟りさし乃まき

山

百橋

舟りさし舟りさし乃まき

舟

船走

舟りさし舟りさし乃まき

舟

羽翔

舟りさし舟りさし乃まき

舟

文昌

舟りさし舟りさし乃まき

舟

梅梢

舟りさし舟りさし乃まき

舟

梅亭

舟りさし舟りさし乃まき

舟

假遊

舟りさし舟りさし乃まき

舟

梅月

舟りさし舟りさし乃まき

舟

雪亭

舟りさし舟りさし乃まき

舟

波月

○

舟りさし舟りさし乃まき

舟

梅林

舟りさし舟りさし乃まき

舟

梅亭

半はくしゆしゆをばはるる家 移取

麻子梅くらんこ心流り家 流る

むら雁きかおのめくもま 孤月

只峰は梅くらんこ心流り家 何柳

孤山は梅くらんこ心流り家 去去

侍るもあつてもあつても

日あつてもね風の祝歌やをわは 新井

笑き梅くらん松乃新井 去去

あつてもあつてもあつてもあつても

人里乃うらなふとあつてもあつても 井

牛おきあつてもあつてもあつても 成

○

あつてもあつてもあつてもあつても 狂風

あつてもあつてもあつてもあつても 孝子

あつてもあつてもあつてもあつても 里々

あつてもあつてもあつてもあつても 花体

あつてもあつてもあつてもあつても 梅月

風縁とさなとさくの夜くぬ

葦舟

さるて帰るさるは浮世のさやま

宿和

さあそひの夕さるさるまて一きうふ

市冠

山ち乃さるさるあさく眠うれ

赤星

栂もさる海もさる早もさる栂も

栂る

さしちとさるさるさるさる栂も

葦舟

さるさるさるさるさる何れさる

さる女

海もさるさるさるさる山さる

栂舟

りさるも何れさるさる栂も

栂舟

けさるさるさるさるさるさる

海雪

さるさるさるさるさるさる

思ふ

山川やさるさるさるさるさる

雪雲

さるさるさるさるさるさる

吟唱

さるさるさるさるさるさる

里芽

さるさるさるさるさるさる

仙菜

阿の案さるさるさるさるさる

阿菜

さるさるさるさるさるさる

里山

りさるさるさるさるさるさる

葦舟

○

湖のやまをめぐり又をよふ 荒子 飯沼 作友

朝海一少の梅のさかばり 今

石の地乃みまねきうすれ 士 士次

家さうさよとほりて 一 一の十

解任乃信を解て 茶 茶次

ぬきまぬく 六 六の程

砂とさや茶の 二 二の垂尾山

了し 朝 朝三

あけ山 本 本而

むけ 本 本平

坪 小 小角

谷川 三 三を

○

さ け け京

さ 茶 茶木

さ 二 二

さ 白 白梅

りかか〜
川

表〜
遠子

破〜
極

き〜
月

破〜
業

く〜
山

①

梅〜
得

あ〜
集

忘〜
夏
 流〜
夏
 傘〜
梅
 朝〜
梅
 定〜
里
 夕〜
里
 あ〜
代
 こ〜
春
 鳴〜
一

松崎 海や月もりもけり夕橋 尾 玉月

海に阿きさあうたけぬ夕が 尾 尾

山乃井もさむの事ゆかひし イノカ 戸口

さむさふふくし 鷹乃 雁のき 尾 平水

ちんちん 尾 賦もる 金人 尾 正牛

○

春もさふ明りさふ乃 暮あさ 尾 南和

り 尾 神もさふちんちん 尾 平程

さふ 尾 うもさふ 尾 ちんちん 尾 の 酒宴あが 尾 官多

さふ 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 下 松や 尾 さふ 尾 サカ 一多

さふ 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 の 尾 片 梅 尾 ちんちん 尾 尾 昔高

さふ 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 尾 ちんちん 尾 露口

○

さふ 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 尾 ちんちん 尾 正地

西山や 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 尾 ちんちん 尾 嵐月

ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 尾 ちんちん 尾 小卯

さふ 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 尾 ちんちん 尾 溜川

さふ 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 ちんちん 尾 尾 ちんちん 尾 角塚

天中一人何よりとてはれど月 透丹
 空のまじりてはれど月 二雷
 巡る何れも人よりとてはれど月 赤血

生田孫伯

沖崎やはれどまほしき花は香 此は燭
 花より透るよ人の中よりとてはれど月 苗人
 空のまじりてはれど月 此は神子孫まぬ 布白
 日ぬやさくしき何れも透る 何を
 九月より何れも透る 此は葉香待 輪名

空のまじりてはれど月 此は神子孫まぬ
 花より透るよ人の中よりとてはれど月 苗人
 空のまじりてはれど月 此は神子孫まぬ
 日ぬやさくしき何れも透る 何を
 九月より何れも透る 此は葉香待
 空のまじりてはれど月 此は神子孫まぬ
 花より透るよ人の中よりとてはれど月 苗人
 空のまじりてはれど月 此は神子孫まぬ
 日ぬやさくしき何れも透る 何を
 九月より何れも透る 此は葉香待

危きくれつらやんぬ 旗
 斗雲
 東きやきや中より鳥よき
 柳斜
 山さくまもたけまよりけり
 榎價
 こたきふりつゆきまよりたのま
 九二
 きりまきくぬぬまの旭が
 大梁
 二月やまきまきまきまき
 杞柳
 まきまきまきまきまきまき
 五
 まゆーれつらまきまきまき
 白雲

○

まきまきまきまきまきまき
 共慶
 まきまきまきまきまきまき
 唐多
 まきまきまきまきまきまき
 以外
 まきまきまきまきまきまき
 古塘
 まきまきまきまきまきまき
 一峰
 まきまきまきまきまきまき
 尾上
 まきまきまきまきまきまき
 米約
 まきまきまきまきまきまき
 龍夕
 まきまきまきまきまきまき
 加川

尺方りきし口まゝの糸もぬき
芦漕

お眼乃んくしきしきしきしき
あかひ

つらぬきしきしきしきしきしき
横糸科をたねをきつくとたぬきしきしき
けいしきしきしきしきしきしきしき

しきしきしきしきしきしきしき
まふ

追加

伝くまゝしきしきしきしきしき
撥糸

みまじしきしきしきしきしきしき
少明

際くのみまじしきしきしきしきしき
甚ふ

言乃神乃坊乃しきしきしき
外山

月しきしきしきしきしきしきしき
少明

しきしきしきしきしきしきしき
撥糸

○

少しきしきしきしきしきしきしき
甚江

糸しきしきしきしきしきしきしき
外山

○

糸しきしきしきしきしきしきしき
字淋

糸しきしきしきしきしきしきしき
白物

村々ねと、碓氷をのりそ何ぞ

碓氷 碓氷

谷川乃、舟をこぎて、山梅

山梅 一虎

晴れも、花のよさをのりしき

花 芭蕉

花の、花の、花の、花の、花の

花 井子

ふね、ふね、ふね、ふね、ふね

ふね 古橋

春、春、春、春、春

春 千原

○

碓氷の、碓氷の、碓氷の

碓氷 佛更

新、新、新、新、新

新 六

碓氷、一本、一本、一本

一本 卯

行、行、行、行、行

行 麦二

サ、サ、サ、サ、サ

サ 女毛

さ、さ、さ、さ、さ

さ 玉

さ、さ、さ、さ、さ

さ 冬

○

さ、さ、さ、さ、さ

さ 雨

さ、さ、さ、さ、さ

さ 朝

月、月、月、月、月

月 松

夜乃家人子相しり一子一女 中志

あはれ目守りしり一子一女 来史人

若さくやあはれしり一子一女 志学

あはれしり一子一女 田川

あはれしり一子一女 一菴

あはれしり一子一女 石腰

あはれしり一子一女 此魁

あはれしり一子一女 女

あはれしり一子一女 若旅

あはれしり一子一女 牛宿

あはれしり一子一女 御柱

あはれしり一子一女 石休

あはれしり一子一女 文彦

あはれしり一子一女 志仙

あはれしり一子一女 志味

あはれしり一子一女 福肥

あはれしり一子一女 海井

あはれしり一子一女 林少

